

令和6年4月

令和6年度 学校経営方針

砧の学び舎 世田谷区立砧中学校
校長 加藤敏久

1 教育目標

『グローバル社会における人間性の育成』

- (1) 人権感覚を高め、キャリア発達を促して健やかな心身を醸成する
- (2) 集団生活での責任感と寛容な心、多様な人と協働する態度を養う
- (3) 個々の学力の充実を図り、高次に探究する習慣を身に付けさせる

2 重点目標

基本理念 『生徒を伸ばし、生徒を支え、未来に備える』

- (1) 日々授業改善を行い、学習指導をより充実することで、基礎的・基本的な知識・技能の習得やその活用力と探究力、体力の向上を図る。
- (2) 多様な体験活動の実践を通して自己理解力と他者理解力を向上させ、地域社会への参画意識を高め、広く社会に貢献しようとする態度を養う。
- (3) 多様性と包摂性を尊重した人権教育を進め、多様化・国際化が進む社会を協働して生きる考え方とスキルを身に付けさせる。

3 学習指導

○語学力と ICT 活用スキルを生かした探究的・協働的な学びを推進する。

- ・教師の解説時間と生徒主体の活動時間のタイムマネジメントをする。
- ・習熟度に応じた学習内容の提供、個別最適化と評価の充実を図る。
- ・読書活動、NIE と併せて、GIGA スクールを確実に推進する。
- ・探究や「調べ学習」で学校図書館の利活用を計画、実施する。
- ・英語力のさらなる向上に資するプログラムを進める。
- ・SDGs と関連付けた現代社会や地域の課題を解決する学習を行う。
- ・「礼儀」「思いやり」「寛容」を重点にした道徳教育を実践する。

4 生活指導

○多様な価値観やちがいを受け入れ、個性やよさを伸ばす指導を継続して安心感と自信を持たせ、自己肯定感を高めて、いじめを防止する。

- ・自他の人権を尊重すること、相手をリスペクトすることを最優先とする意識を育て、選択すること、協力することの楽しさを味わわせる。
- ・あいさつの励行、ボランティアの推奨、校則の見直しを継続するとともに、生徒の声を聴く機会を設定し、生徒の主体性や充実感の育成を図る。非行対応や罰則よりも日常の教育相談を優先する意識を持つ。

NIE : Newspaper in Education (教育に新聞を) 実践指定校

SDGs : Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)

JRC : Junior Red Cross (青少年赤十字)

- ・通常の学級と特支学級によるインクルーシビティと合理的配慮、不登校対応を積極的に実現するとともに、家庭との連携や情報共有を適切に行う。

5 進路指導

- 令和の時代の職業の変化、職に対する価値観や働き方の変容を視野に入れたリアルタイムな教育活動を展開する。
- ・キャリアパスポートの積極的活用により、なりたい自分になるための支援を生徒に寄り添い指導する。
- ・未来の仕事やスタートアップ等も導入し、地域社会と連携したキャリア教育プログラムを展開する。
- ・生徒会活動、学校行事への生徒のより主体的な参画と運営を支援、実現する。特に、外国の生徒との交流やJRC加盟を進める。
- ・ボランティアや地域行事等に参加することで社会とのかかわり、貢献した体験を奨励し、「キャリア・未来デザイン教育」を推進する。
- ・学習の評価・評定は、計画と根拠の明示、適正で信頼性の高い評価を目指すとともに、近隣中学校とのバランス等を考慮に入れて算出する。減点法から加点法へのシフトチェンジを進める。

6 学校における働き方改革

- ・教育活動と時数を精査する。部活動を実施しない日や採点集中日等を年間計画に位置付ける。
- ・教育 DX を積極的に進め、ペーパーレス及び会議の効率化と改善を行う。